

議会フェスタでいただいたご意見（一部）を紹介します

令和8年2月5日（木）に開催された議会フェスタにおいて、参加された皆さまからいただいたご意見とそれに対する回答の一部をご紹介します。

質 問 内 容	回 答
議会の常任委員会等の事務調査や視察報告について、町民に分かりやすく周知するとともに、その成果などをどのように町政に反映していくのか。	常任委員会の事務調査や視察の内容については、議会広報紙やホームページ等で町民のみなさまに分かりやすく周知してまいります。 議会は執行機関ではないため、成果を直接町政に反映することはできませんが、一般質問や委員会での質疑、政策提言、関係部局との意見交換などを通じて、反映されるよう働きかけています。 また、委員会で課題を共有し、議会が継続的に調査・提案を重ねていくことが、町政への反映につながる重要な取組であると考えています。 今後も調査結果の見える化と活用に努めてまいります。
議会広報について、町民の皆さまにより興味を持っていただけるような工夫をどのように進めていくのか。	議会でも広報のあり方について議論を行っています。 町民のみなさまにとって分かりやすい広報紙づくりや、その他の情報発信についても、引き続き工夫を重ねてまいります。
待機児童はいない（ゼロ）というが、本当は「いる」という現実はあるのか。 ひまわり保育園閉園後の受入れは大丈夫なのか。	調査を行った結果は、次のとおりです。 待機児童については、2026年は「ゼロ」である。 ひまわり保育園閉園後は、認定こども園（藤幼稚園・大谷幼稚園）で受入れできる体制を整えている。 現状、0歳児は、生後6か月以上でないと受入れができず、大谷幼稚園は、保育士の人数によって受入れ人数に制限を設けることもある。 少子化に伴い園児も減少傾向にあるため、今後の人口動向も注視していく。

質 問 内 容	回 答
介護施設で人材不足のため外国人労働者を受け入れているが、現場担当職員の指導などの負担が重いと聞いている。 介護施設で入所者簡単な介助をするボランティアが不足しており、関心のある町民へ行政とか介護事業者がいったいとなって働きかけをすべき。	調査を行った結果は、次のとおりです。 外国人の人材確保については、既に働きかけを行っている。また、介助ボランティアについては、コロナ以降、外部からの受け入れを制限している。 ボランティア人材は集めたいと思っているが、コロナの影響がいまだ続いており、敬遠されている現状にある。
認知症であるが、身体が動くことによって介護認定が受けられず、家族は、見守りのために仕事ができない。	調査を行った結果は、次のとおりです。 介護認定は、認定調査員が本人の状態確認のほか、家族への聞き取りも行い、医師が診断するため、身体が動いても介護認定が受けられないということはないと思うが、今後注視していく。
「美観」や「倒壊事故防止」の観点からも、まちなかに目立つ空き家（空き店舗）の対策を進めてほしい。 また、更地にした場合の固定資産税の増額が解体の問題になっている。	調査を行った結果は、次のとおりです。 町では、空き家（空き店舗）に対するリフォーム補助金などの支援を行っているほか、不動産業者と連携した空き家（空き店舗）の管理を行っている。 また、固定資産税については、地方税法に基づき賦課・徴収されるものであるため、ご理解いただきたい。

質 問 内 容	回 答
肺炎球菌ワクチン接種費用について、2回目からは自己負担でもいいのではないかな。	調査を行った結果は、次のとおりです。 2026年4月より、高齢者（65歳以上）の定期接種肺炎球菌ワクチンが変更され、原則1回の接種で完了することになり、これまでの5年ごとの追加接種は不要となった。
「義務教育学校」1校になることで、逃げ場がなくなり、不登校生徒児童が増えるのでは	不登校対策全般をテーマとして、現在、経済教育常任委員会として調査及び協議をしております。引き続きいただいたご意見も含め調査を継続していきます。
移住のきっかけづくりの一つとして、中心市街地の空き店舗を有効活用した「チャレンジショップ」を設けてほしい	いただいたご意見について行政と共有させていただくとともに、議会としても経済対策について今後も調査・研究していきます。
町民会館に「通信カラオケシステム」を導入してほしい	令和8年3月定例会において、3名の議員が一般質問を実施し、高齢者の生きがいと社会参加、生涯学習支援、健康維持への有効性について、その必要性を強く訴えました。 教育委員会からは、要望いただいた団体等と課題を含めて継続協議していくと答弁をもらっています。

質 問 内 容	回 答
図書館と児童館の複合施設（たまり場、ストレス発散の場、たむろできる場）を建設してほしい	いただいたご意見について行政と共有させていただくとともに、議会としても教育・福祉対策について今後も調査・研究していきます。
中高生が利用しやすい「子どもプラザ」を設置してほしい	いただいたご意見について行政と共有させていただくとともに、議会としても教育・福祉対策について今後も調査・研究していきます。
不登校対策としても30人以下学級にしてほしい	現在、美幌町では小学2年生までを対象に30人以下学級を実践しているところです。経済教育常任委員会としては、不登校対策全般をテーマとして調査及び協議をしておりますので、引き続き様々な面から研究していきます。